

# 白山中学校 第2学年 「道徳」 シラバス

## 教科の目標

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

## 評価の視点・方法

道徳科における、

- ①学習状況
- ②道徳性に係る成長の様子

- ・個々の内容項目ごとではなく、大きくくりにまとまりを踏まえた評価
- ・他の生徒との比較による評価ではなく、生徒がいかにか成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価

- 発言、道徳ノートによる評価
- 教師の観察による評価
- 生徒自身による自己評価

## 特色ある学習方法

- ・内容項目に応じて、チームティーチングやゲストティーチャーを活用します。
- ・職員全体で道徳性を育むために、時期に応じて、学年職員が道徳の授業をするローテーション道徳の実施をします。
- ・「考え、議論する道徳」が展開されるよう発問や授業形態を工夫します。

	主な学習項目	学習のねらい
一 学 期	勤労  友情, 信頼  公正, 公平, 社会正義	勤労は個人の生活の維持や幸福追求と同時に、社会的分業によって社会に貢献していることを自覚し、勤労に対する意欲を高める。  互いに励まし合い、高め合う本当の友達をつくらうとする態度を育てる。  正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努める心情を育む。
二 学 期	自主, 自律, 自由と責任  社会参画, 公共の精神  我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度	誠実に行動することの大切さを理解し、自主的に行動しその結果に責任をもとうとする態度を育てる。  社会参画の意識を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現のために貢献しようとする態度を育む。  国際社会に生きる日本人としての自覚をもち、我が国を愛する心情を育てる。
三 学 期	国際理解, 国際貢献  生命の尊さ  家族愛, 家庭生活の充実	それぞれの国の伝統と文化に各国民が誇りをもっていることを理解し、その上で日本人として国際協力を積極的に行おうとする態度を培う。  限りある生命を懸命に生きることの大切さを理解し、互いに支え合って生きようとする心情を養う。  自分も家族にとってかけがえのない存在であることに気付き、家族の一員としての役割を果たそうとする心情を育てる。